

## カナダ Pearson College UWC 寺田さん 留学期間：R5.8～R7.7（2年間）

私は、今夏からカナダのバンクーバー島にある Pearson College UWC に通っています。世界のおよそ100か国から集まった210人の仲間と共に森と海に囲まれた自然豊かなキャンパスで日々生活を送っています。

カナダで始まる新たな生活に胸を膨らませて渡航してから約4か月、一瞬だったというのが率直な感想です。しかし、4か月とは思えないほど気づきや学びの多い濃厚な期間でもありました。今はカレッジでの生活が楽しくて仕方ありませんが、到着当初は、予想以上に高い言語の壁にぶつかりました。同級生の会話の内容を5割程度しか理解できず、1日目の夜に感じた不安と焦りは今でも鮮明に覚えています。日常会話ぐらいなら普通にできると思いこんでいた自分がどれだけ「世界」を甘く見ていたのかと痛感させられました。日々の会話でさえたどたどしいため、英語での授業を理解するには、さらに時間がかかりました。周りの友達が数十分で終わったという課題に3時間かかったり、自分の考えがあっても英単語を思い出している間に話が進んでしまったり、自分の情けなさを感じながら生活する日が多かったです。留学当初は、無意識のうちに自分の頭の中で、自分ができないものばかりを並べていたように思います。しかし、留学から3か月ほど経ったある時、一人の友達が、私が無意識に使った言い回しに反応して「その言い回し使えるようになったね」と言ってくれました。そのおかげで、できないことだらけだった生活の中にも、新しくできるようになったことが増えていると気づきました。新しくできるようになったことを見つけようと心がけていると、カレッジでの生活がさらに楽しくなり、積極的に英語で話せるようになりました。「できないことを気にするのではなく、できるようになったことを探すために時間を使う。」世界中の仲間と英語で生活するという大きなチャレンジを通して、これの大切さを学びました。

UWC では国際バカロレアのディプロマプログラム（IBDP）のカリキュラムに沿った授業や課外活動が行われています。授業は10～15人程度の小規模なクラスがほとんどで、実験や観察、ディスカッションに重きが置かれています。例えば、私が好きな海洋生物学の授業では、カレッジにある栈橋や近くの海岸や島などの屋外で海洋生物の観察を行います。野生のアザラシやアシカを近距離で観察した時にはすごく感動しました。教科書や映像ではなく、自分の五感を使って学ぶ新しいスタイルの学び方に楽しさを感じています。また、課外活動は週に2回あり、ボランティア活動やスポーツを行います。私は、KULE という非営利団体の活動に参加し、ファンディング用のアクセサリ作りやクッキングブック作りを行っています。そして、この活動の一環でグループの中の何人かがケニアの小さな村へ行き、学校を建てる計画も予定されています。このケニアのプロジェクトに参加するには選抜があるので、今は日々の KULE の活動の中で、新しいアイデアを提案したり、モノづくりを熱心に行ったりして、積極的に活動しています。

このカレッジでの生活は予想以上に挑戦的なものであると同時に、数多くの出会いと学びがあります。そして、このカレッジで2年間生活を送れることも、奨学金のサポートをしてくださっている方々のお陰です。深く感謝を申し上げますとともに、残りの一年半も日々奮闘していきます。



手作り投石器を用いた実験（物理の授業）



先生の家でドキュメンタリーを見ている様子（経済の授業）



集合写真



KULE での活動



近くの村でのソーラン節の発表



川でサーモンの観察  
(マリンサイエンスの授業)



パドリング



カレッジ近くでよく見られる  
野生のアザラシ



カナダの先住民について学ぶ時間